

活動名	焼き板			
活動概要	自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。			
育つ力	やり抜く力	学ぶ力	勤労観	
諸条件	場 所	研修室の軒下等	対 象	小学生～大人
	所要時間	1～1.5時間	人 数	10～50名程度
	時 期	全シーズン	天 候	なし
活動の教育的効果	(1) 絵を描くことにより、創造性を養うことができます。 (2) ガスバーナー等の器具の取り扱いを学ぶことができます。 (3) 研修の思い出となります。			
準備するもの	団体が準備するもの		交流の家が貸し出すもの	
	<input type="checkbox"/> 個人：ボスカ、軍手 ※絵の具を使用することも可能。その際は絵の具セット <input type="checkbox"/> 団体：新聞紙、雑巾、材料板（食堂へ発注） 彫刻刀（必要に応じて） ガスボンベ（食堂にて販売有） 材料費：1セット300円（杉板、ヒートン、ひも）		<input type="checkbox"/> たわし <input type="checkbox"/> 火ばさみ <input type="checkbox"/> きり <input type="checkbox"/> バーナーヘッド <input type="checkbox"/> のこぎり（必要に応じて）	
活動内容（手順）	時 間	項 目	内 容	備 考
	事前	安全指導	<input type="checkbox"/> ガスバーナーの取り扱い方法	
	15分	準備	<input type="checkbox"/> 食堂で材料を受け取る。	
	90～120分	焼き板作成	<input type="checkbox"/> 職員による焼き板作成の説明を受ける。 <input type="checkbox"/> 下書きをする。 <input type="checkbox"/> のこぎりで好きな形に切る（使用する場合） ※彫刻刀を使う場合は焼く前に彫る。 <input type="checkbox"/> ガスバーナーで焦げ目がつくまで焼く。 <input type="checkbox"/> 焼いた板をたわし、雑巾の順番で磨く。 <input type="checkbox"/> 色をつけるための下書きをする。 <input type="checkbox"/> ボスカ等で字や絵を描く。 （新聞を敷き、机にボスカがつかないようにする） <input type="checkbox"/> きりで穴を開けヒートンを固定し、ひもを通す。	のこぎり、バーナー使用時は引率者が必要。
	15分	片付け	<input type="checkbox"/> 木くずやビニール等のゴミを掃除する。 <input type="checkbox"/> パレットや筆を洗う。	
	15分	発表	<input type="checkbox"/> 作成した焼き板をクラス等で発表する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 怪我（板のとげが刺さる、のこぎり、きり、彫刻刀での裂傷） <input type="checkbox"/> やけど（ガスバーナー、焼いた直後の板） <input type="checkbox"/> ガス中毒（ガスバーナーのガスを吸い込む）			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> かまどの火で板を焼くこともできます。（ガスバーナーを使用しない）			
備考	<input type="checkbox"/> 人数が多い場合は富士ピロティで説明や、磨く作業を行う場合があります。人数が多い場合は調整の段階で、2展開となる場合があります。 <input type="checkbox"/> 雨天時のみの実施も可能です。 <input type="checkbox"/> 他団体と同じ時間帯の実施はできません。			

焼き板の手順を動画で紹介！

